



はじめに

RX72M編(μ C3/Standard)

株式会社アルファプロジェクト製 『RX700 シ
リーズ RX72M CPU ボード AP-RX72M-0A』

1. はじめに

このたびは、eForce製品をご試用頂きありがとうございます。

本書は、株式会社アルファプロジェクト製 『RX700 シリーズ RX72M CPU ボード AP-RX72M-0A』に対応しており評価版パッケージの概要、インストール手順、補足事項について説明いたします。

制限事項

本評価版は **AP-RX72M-0A** 上での試用を想定しています。収録されているプログラムを製品評価以外の目的で使用することはできません。

本評価版は製品版とは異なり、RTOS、TCP/IP プロトコルスタックのソースコードが含まれないほか、下記の機能制限がなされています。

- RTOS の ID 数の制限

- ・タスクの個数：12（製品版では 255）
- ・その他のオブジェクト個数：8（製品版では 999）

※. 参考情報：IDの詳細については、 μ C3/Standardユーザーズガイド「3.3.1 オブジェクトのID番号上限のコンフィグレーション情報」を参照してください。

- 制限事項(TCP/IP プロトコルスタック)

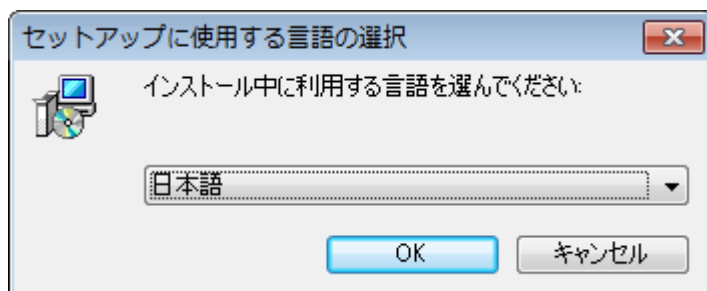
- ソケット最大数は8つ
- マルチキャストは使用不可
- IP reassemblyは使用不可
- ネットワークのMTUサイズ、ネットワークバッファ数、変更不可
- ETHERNETのコンフィグレーション不可
- MACアドレスは変更不可
(hex表示：12-34-56-78-62-CD): Ethernet0
(hex表示：12-34-56-78-1C-F3): Ethernet1
固定値、Ethernet 評価用

本評価版を使用するにはルネサスエレクトロニクス社の開発環境(e2Studio)と、コンパイラ(CS+) が別途必要です。開発環境及び、コンパイラはルネサスエレクトロニクス社のホームページより評価版をダウンロードできます。

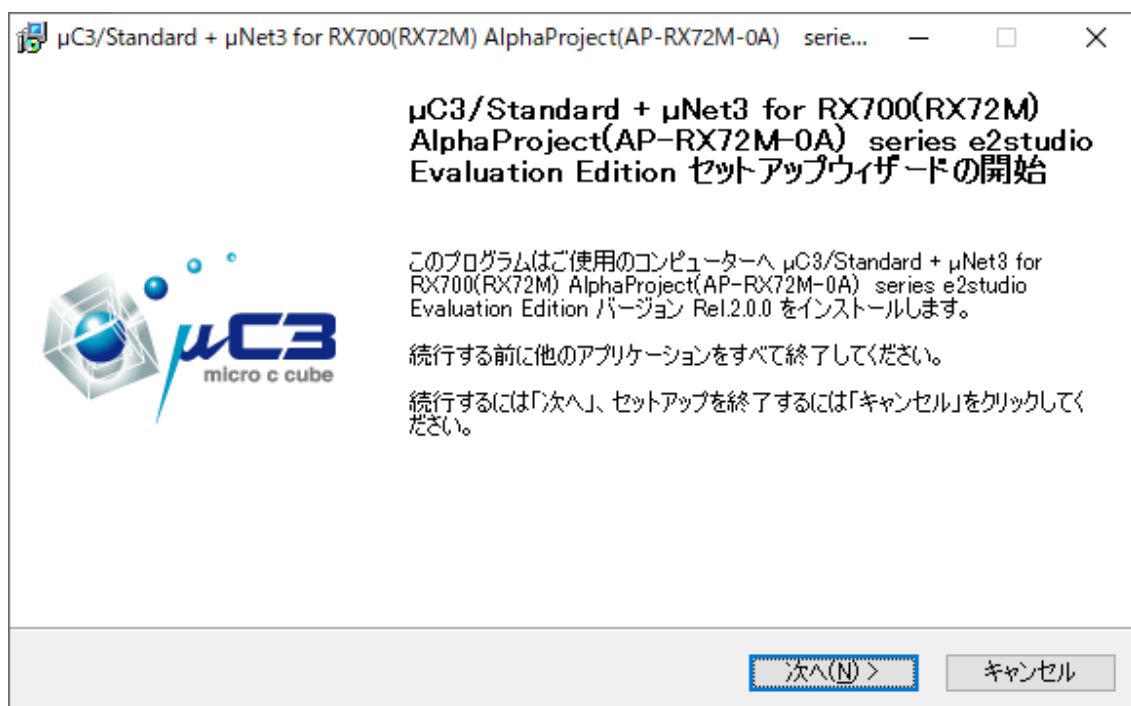
2. インストール

uC3s_uNet3_RX72_e2studio_eva_AlphaProject_r200.exeを実行し画面に従いプログラムをインストールします。

最初に下記メッセージが表示されるので、インストール時の言語を選択し、OKをクリックします。

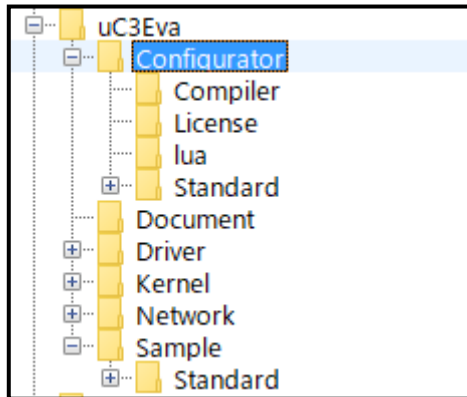


下記メッセージでOKをクリックし、その後画面のメッセージに従いインストールを実施します。




フォルダ構成

インストールが完了すると、以下のフォルダ構成となります。



コンフィグレータの起動

RTOSやTCP/IPプロトコルスタックのコンフィグレーションが簡単に行えるようにGUIのコンフィグレータが付属しています。インストール時にデスクトップにアイコンを作成すると、選択した場合は、のアイコンを実行すると、 μ C3コンフィグレータが起動されます。

または、直接「¥uC3Eva¥Configurator¥Configurator.exe」を起動してください。

サンプルプログラムの実行

評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。
サンプルプログラムの実行方法は、「¥uC3Eva¥Document」内のチュートリアルガイドを参考にして下さい。

サンプルプログラム

評価ボードをターゲットとしたサンプルを用意しています。
サンプルプログラムは、「¥uC3Eva¥Sample¥Standard」内にあります。
また、各サンプルの説明は、「Readme.txt」に補足説明があります。